

食中毒



食中毒とは

有害物質によって汚染された食物を摂取することによって発症する感染症、中毒性疾病

食中毒の型式は**感染型**と**毒素型**とに分類される

- **感染型**: 潜伏期間は毒素型より長く、発熱をきたしやすい
- **毒素型**: 潜伏期間は数時間以内と短く、発熱はまれ

食中毒における下痢症に対して、**止痢薬投与は原則禁忌**



食中毒予防

予防の原則

食中毒の原因菌を…

つけない・増やさない・やっつける



対策

<スタッフ>

手洗い、消毒を行う

手洗いを行う。手洗いができない場合はアルコール消毒剤で消毒する

<利用者>

手洗いを行う。手洗いができない場合はアルコール消毒剤で消毒する

<その他>

テーブルは食事前後にアルコール消毒剤等で拭く

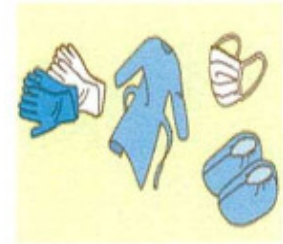
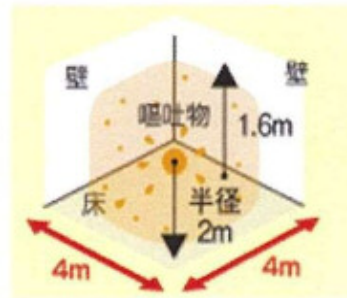
手洗いを行う。手洗いができない場合はアルコール消毒剤で消毒する

食品を利用者が持ち帰らないよう注意する



嘔吐物処理のポイント

- 感染防止品の着用
- 立入りの制限
- 十分な換気
- 効果的な殺菌剤の使用
- 広範囲の清浄化
- 処理後の手洗いとうがい



汚物の処理は初期対応がすべて!

嘔吐物・排泄物の処理

- ① 汚物の量と同量の次亜塩素酸ナトリウムを汚物が飛び散らないように静かに注ぐ。
- ② 汚物中のウイルスが飛び散らないように、汚物を使い捨てのペーパータオル等で外側から内側に向けて静かに取り除く。
- ③ 汚物を取り除いた床をペーパータオルなどでおおい、ペーパータオルが十分濡れるように調製液を注ぐ。10分間程度おいた後、ふき取り、さらに調製液に浸したペーパータオル等でふく。その後、水ふきをする。

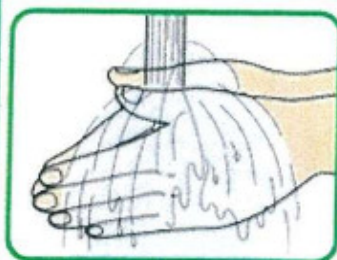
※処理する前に、手袋、使い捨てエプロン、マスク、シューズカバーの着用は必ずしましょう!!

「処理した」の安心は禁物!

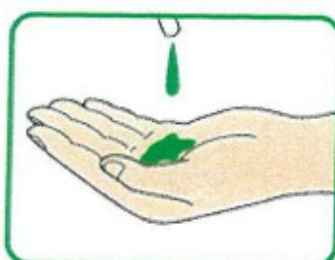
| 起因菌 | 原因食 | 潜伏期間 | 発熱 | 嘔吐 | 腹痛 | 下痢 | 神経症状 |
|----------|-------------------------------------|----------|---------------------|-----|----|--------------------|---------------|
| サルモネラ | 弁当類、生乳、生卵・肉類・魚介類の加工食品 | 12～24 時間 | 38～40℃ (3～5 日続く) | + | + | ++ ときに血便 | - |
| 腸管出血性大腸菌 | 肉類、飲料水 | 4～8 日 | 38℃ 以上 になることはまれ | + | ++ | ++ 頻回の水様便(特に血便) | + (痙攣) |
| カンピロバクター | 飲料水、生乳、鶏肉、牛・豚の生肉 | 2～7 日 | 38～39℃ (時に 40℃) | + | + | +～++ 水様粘血便 | + (痙攣) |
| 腸炎ピブリオ | 生鮮魚介類 (刺身、すし等) | 6～20 時間 | 38～39℃ (時に 40℃) | + | ++ | +++ 時に鮮血 | - |
| ブドウ球菌 | 加工食品 (にぎりめしや弁当等) | 約 3 時間 | - | +++ | ++ | ++ | - |
| ポツリヌス菌 | いずし、辛子れんこん、滅菌の不完全な真空パック、食品・かんづめ類 | 12～36 時間 | - | + | + | + | + (神経・筋麻痺) |
| ノロウイルス※ | 飲料水・食品、生あるいは加熱不十分の魚介類(特に牡蠣などの 2 枚貝) | 24～48 時間 | + | ++ | + | + | - |

※感染要因は他に接触感染(糞口感染)と空気感染(塵埃感染)があり、患者の糞便や嘔吐物に触れた手指を介して、または舞い上がったウイルスが口から入り、感染する

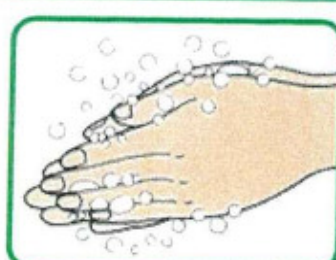
手洗い方法



1 まず手指を
流水でぬらす



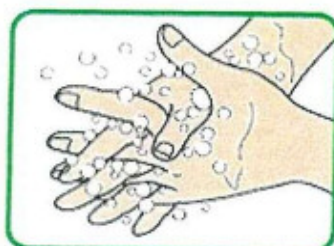
2 石けん液を適量
手の平に受け取る



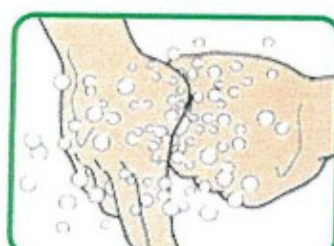
3 手の平と手の平を
擦り合わせ
よく泡立てる



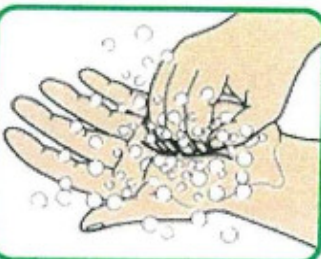
4 手の甲をもう片方の
手の平でもみ洗う
(両手)



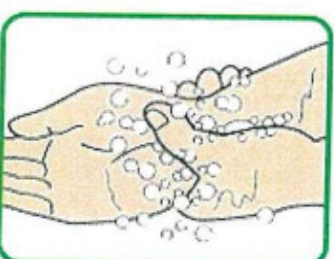
5 指を組んで両手の
指の間をもみ洗う



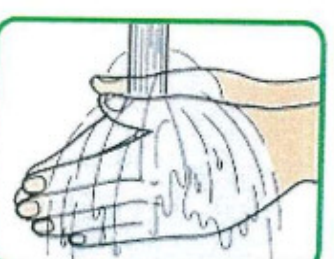
6 親指をもう片方の
手で包みもみ洗う
(両手)



7 指先をもう片方の
手の平でもみ洗う
(両手)

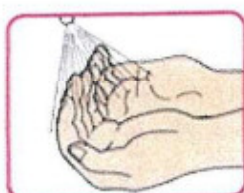


8 両手首まで
ていねいにもみ洗う

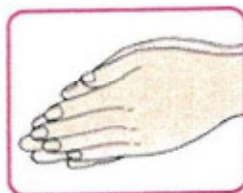


9 流水でよくすすぐ

アルコール消毒の手順



① 噴射する速乾性アルコール製剤を指を曲げながら適量手に受ける



② 手の平と手の平を擦り合わせる



③ 指先、指の背をもう片方の手の平で擦る(両手)



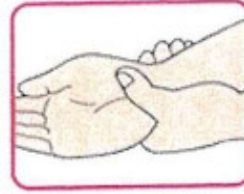
④ 手の甲をもう片方の手の平で擦る(両手)



⑤ 指を組んで両手の指の間を擦る



⑥ 親指をもう片方の手で包みねじり擦る(両手)



⑦ 両手首までていねいに擦る



⑧ 乾くまで擦り込む